

研究 Report



No. 2 令和3年7月 池袋本町小学校

7月5日(月)に5年4組で2回目の研究授業を行いました。今回の授業では、自己中心的な考えに陥らずに、相手の立場や気持ちを理解し、受け止めようとする心情を育てることを目標として設定しました。高学年の児童は、自分と友達のものの見方や考え方との違いを、これまで以上に意識した生活を送っています。その中で、自分の主張を分かってもらおうとするばかりではなく、相手の主張や事情を冷静に聞き入れたり、お互いに理解し合ったりすることの大切さを学習しました。相手の立場や気持ちを知り、受け止めようとする姿勢は、よりよい人間関係を築いていくためにも重要になります。今回の授業をきっかけに、子供たちが相手の立場を尊重し合う関係づくりができるよう、今後も励ましていきます。

- 1 講師 江東区立有明小学校 赤堀 美子校長先生
- 2 主題名 「相手の立場を」(B-11 [相互理解, 寛容])
- 3 教材名 「すれちがい」
- 4 授業内容

【本時の目標】

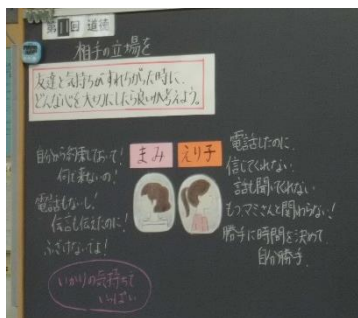
自己本位にならずに、相手の立場や気持ちを理解して受け止めようとする心情を育てる。

【主な学習活動】



導入

事前アンケートの結果から、気持ちがすれ違う経験にどのようなものがあるのか、学級の実態に触れました。

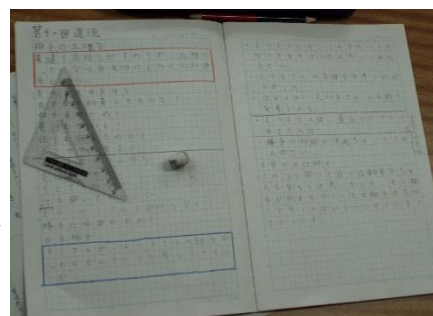


展開前段

すれ違う二人の登場人物が、それぞれどのような気持ちなのか考えました。また、主人公が相手の立場や気持ちを考えずに、自分本位に怒ってしまった様子を捉えました。

展開後段

下の視点で自己の振り返りをしました。
「友達と気持ちがすれ違ったときに、どんな心が大切か。」という
教員の問いかけに対して、
・自分から謝ろうとする心。
・どっちもどっちだと思ふ心。
・相手の話を聞く心。やさしい心。
などの考えが出ました。



終末

担任の経験した話を聞き、相手の気持ちや立場を考え、広い心で受け入れることが重要であることを再度考えました。

